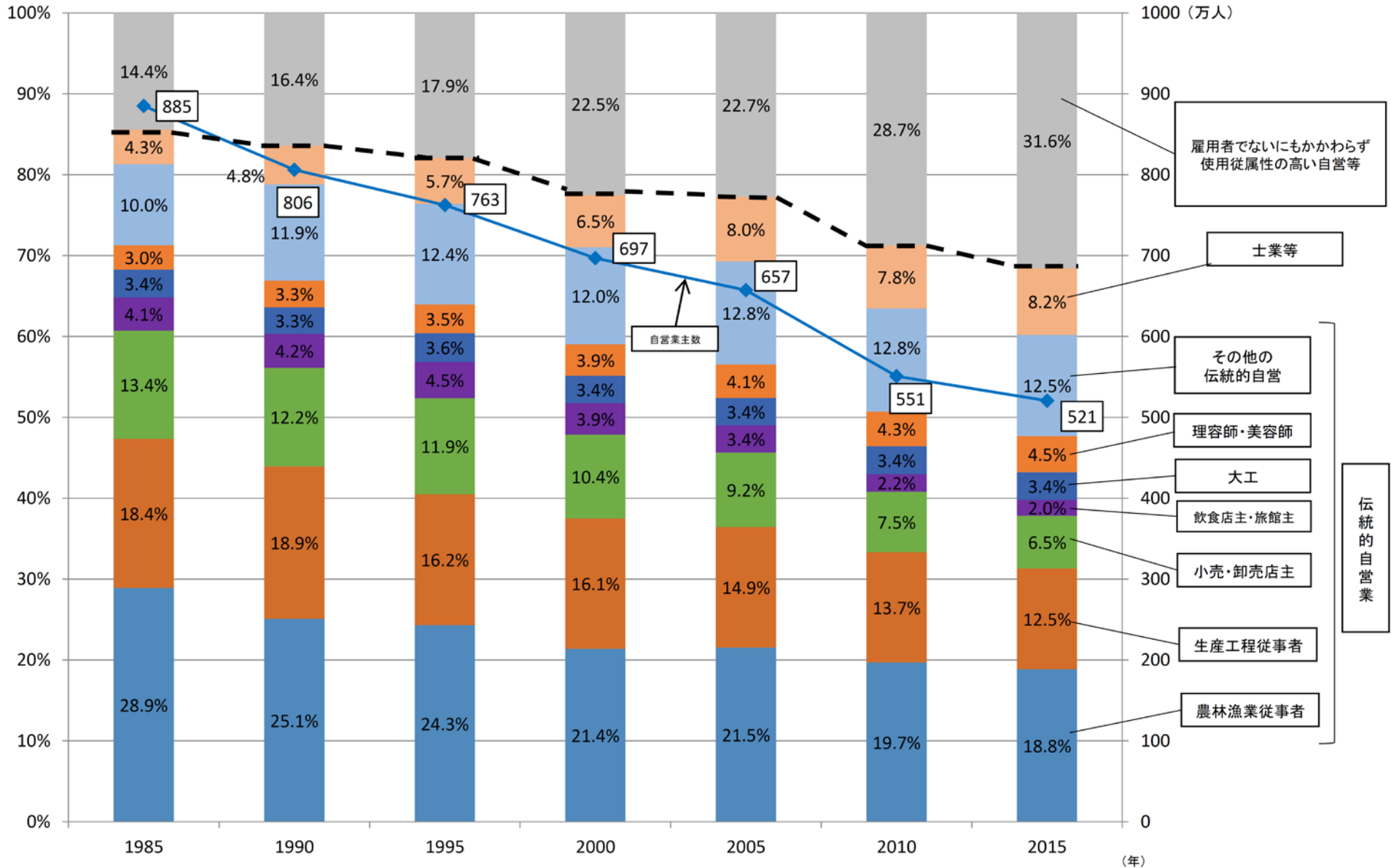


働き方やライフコースの多様化②



(出所)総務省「国勢調査」

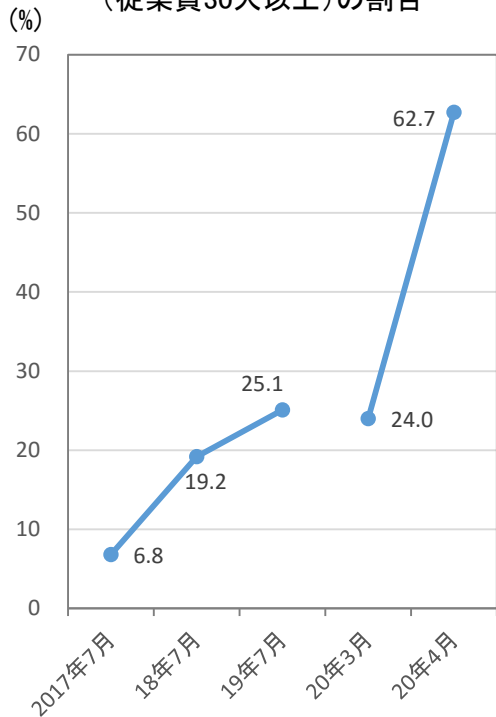
(注1)山田久「働き方の変化と税制・社会保障制度への含意」(平成27年9月3日 政府税制調査会資料)の区分によると、「伝統的自営業」とは、農林漁業、製造業、小売・卸売店主など取引先との関係で使用従属性の低い従来型の自営業をいう。「土業等」とは、医師、弁護士、会計士・税理士、画家・芸術家など使用従属性の低い専門的職業をいう。「雇用者でないにもかかわらず使用従属性の高い自営業等」とは、建築技術者やSE、保険代理人・外交員など使用従属性の高い自営業主が多く含まれる職種をいい、前掲資料においては「雇用的自営業」とされている。

(注2)「自営業主」は、「雇人のある業主」、「雇人のない業主」及び「家庭内職者」。

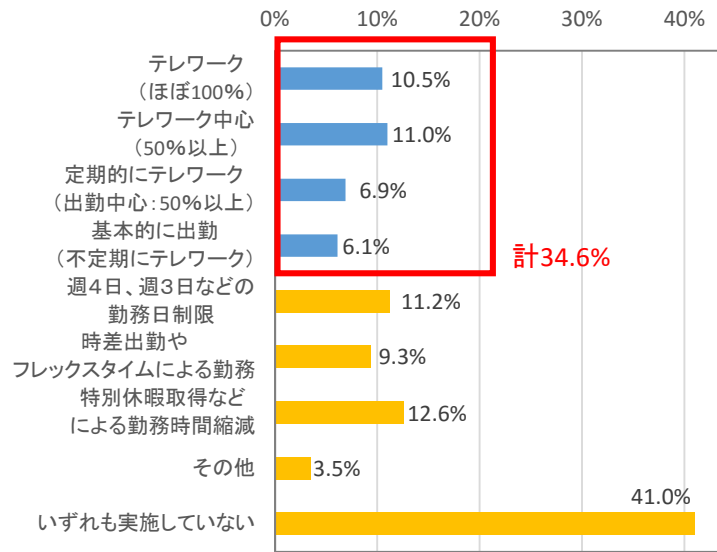
働き方やライフコースの多様化③

- 東京都の調査によれば、テレワークを導入している都内企業の割合が本年3月の24.0%から4月の62.7%へと増加。
- 内閣府の調査によれば、就業者の約35%が今回の感染症の影響下においてテレワークを経験し、就業者の約40%が今後もテレワークを利用すると回答。テレワーク経験者は未経験者に比べ、ワークライフバランスや職業選択・副業等への意識が変化した割合が高い。

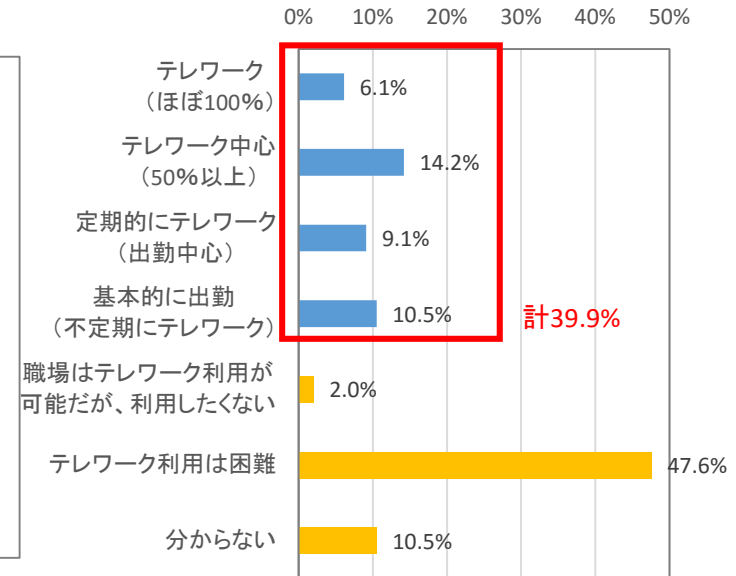
テレワークを導入している都内企業
(従業員30人以上)の割合



テレワークの実施状況
(質問) 今回の感染症の影響下において、
経験した働き方を全て回答してください。



テレワークの利用希望
(質問) 今後、どの程度の頻度でテレワークを利用してみたいですか。



テレワーク経験者の意識変化

	(質問) 今回の感染症拡大前と比べて、ご自身の「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識に変化はありましたか。				(質問) 今回の感染症拡大前と比べて、職業選択、副業等の希望は変化しましたか。		
	生活を重視するように変化	変わらない	仕事を重視するように変化	分からない	変化した	変化していない	分からない
通常どおり勤務 (いずれも実施していない)	34.4%	55.1%	5.1%	5.4%	27.6%	66.9%	5.5%
テレワーク経験者	64.2%	27.8%	5.1%	2.9%	46.3%	51.0%	2.8%

(出所) 内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和2年6月)

(備考) インターネット調査(国内居住のインターネットパネル登録モニター。就業者の回収数6,685人。調査期間令和2年5月25日～6月5日)